

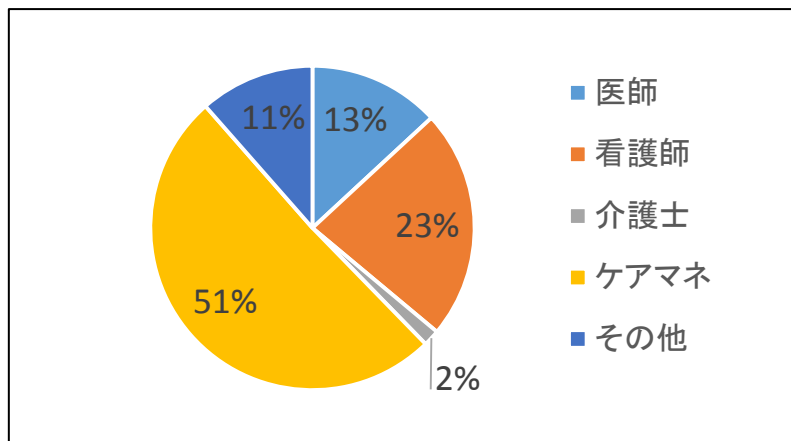
## 平成29年度在宅医療研修会

- 日時:平成29年10月18日(水)19:00～20:30
- 場所:日本海総合病院酒田医療センター 3階講義室
- 参加者74名(内医師14名) アンケート回答者61名 回収率82%

### 1. 参加者職種

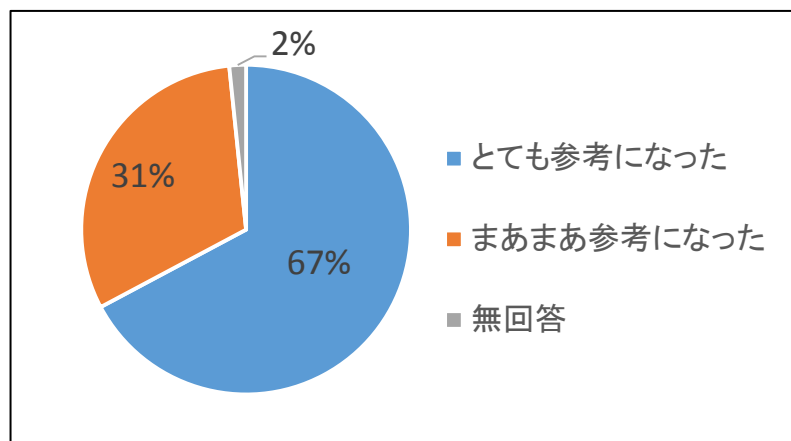
医師	8
看護師	14
介護士	1
ケアマネ	31
その他	7
合計	61

その他:MSW、理学療法士



### 2. 研修会に参加してみて

とても参考になった	41
まあまあ参考になった	19
あまり参考にならなかった	0
無回答	1
合計	61



### 理由

#### 医師

- ・多職種各々からの課題提示、提案、展望が示されたため、懸案の事項がより明らかとなった。  
(頭の中で少し整理された感あり)
- ・本日提示された症例は、それを支えるスタッフも勿論だがそれ以上に家族、患者さん本人の意識が高くないとできないと感じました。
- ・酒田市の現状がよく分かった。
- ・話す内容が具体的、明瞭。
- ・訪問リハについてはあまり良く知らなかったなので、参考になりました。
- ・症例報告が多かったが、もう少し自分の職種の課題を出して欲しかった。

## 看護師

- ・経口接種困難で体重↓の高齢者が多くいる中、歯科介入について話が聞けて良かった。  
RHについても今後とても必要だと考えます。
- ・多職種のかかわり方について話を聞くことができてよかった。
- ・多職種連携の大切さがとてもよく分かりました。
- ・歯科衛生士と栄養士が無料訪問できること、それを行うにあたって連絡先がはっきりしたこと
- ・在宅での嚥下評価をどのように行っているのか
- ・歯科の先生のお話を聞き、同行訪問事業に興味を持ちました。病院勤務しており、食べられないとPEG、CVという話になりやすいのですが、参考になりました。

## 介護士

- ・食支援からの視点

## ケアマネジャー

- ・専門職の専門的な係わりで利用者の自立ができた事例、または、改善の見られた事例等を具体的な話でとてもわかりやすく理解することができました。 **同様2件**
- ・各専門職の話がよかった。
- ・初めて知ることもあり、各職種からの取り組みを聞くことができてよかった。
- ・歯科医師や薬剤師がより身近な専門職であることをあらためて理解できました。
- ・食事について相談を受けると、配食弁当の形態を調整や高カロリーに頼る傾向でしたが、在宅に栄養士や衛生士が訪問することで改善することが学べた。今後利用していきたい。
- ・歯科の同行訪問事業はとても勉強になった。ケアマネとして利用者の課題をつかみ解決に向けたアプローチをすることが重要だと思った。また、がん末期などで麻薬などの薬を使用されている方も多くケアマネ1人で抱え込むといったことがないように連携していくことができればと思った。
- ・口から食べることの大切さ、多職種の連携により回復できる可能性があることを学びました。  
高齢ということはあきらめて、の理由にならないのですね。
- ・歯科医、薬剤師の訪問意義が分かったような気がしました。
- ・それぞれの職種のかかわり方について参考になりました。
- ・歯科や薬剤師の訪問事業や活動について詳しく知ることができた。栄養の相談も歯科で受けてくれることは初めて知った。対象者がいれば積極的に活用したい。
- ・歯科医の在宅医療への関わり方(重要性)がよく理解できた。この様にみんなで支援できたら、療養者、家族も満足できると思いました。
- ・各職種の先生方の話を聞いていると、今後の医療連携の構築について可能性を感じました。
- ・医師の指示が必ず必要、再度認識できた。
- ・多職種連携における先生方の考えを聞けるよい機会となりました。歯科医師や薬剤師への介入は消極的になることが多いのでうまく繋いで利用者のADL向上、QOL向上につながればよいと感じました。
- ・薬剤師訪問など今後のマネジメントへの提案の1つとなりました。
- ・多職種からの情報をいただきありがとうございます。
- ・事業所同士の連携がもっとも必要だということがわかりました。
- ・歯科は治療だけでなく、食支援での関わりでも大きいことを事例を通して実感できた。
- ・多職種連携の事例とても参考になりました。
- ・4つの発表全てに興味深く、早速相談したいケースが思い浮かんでいたところです。
- ・在宅歯科支援室歯科だけでなく口腔全体のことを支援してくれる、とても頼もしく見え今後相談してみたいと思いました。開業医の先生の参加が多くびっくりしました。

## その他

- ・多職種の先生方の貴重な講演を聞くことができた。特に佐々木先生の講演は大変よかった。
- ・他専門職の取り組み、関わりを具体的に知ることができるよい機会となりました。
- ・他職種、他科また事業所での取り組みが知れて参考になった。在宅に関わる身として地域での取り組みやインフラをもっと理解して取り組んでいければと思った。
- ・在宅に訪問支援している現状を知ることができました。
- ・歯科、薬局、PT等普段あまり聞かない話を聞けてよかった。  
特に佐々木先生の取り組みのお話はとても参考になった。今後に活かしたい。
- ・薬剤師による服薬指導について、実際の流れについて詳しく聞けてよかった。
- ・歯科衛生士と栄養士の訪問によって、食事のアプローチを変えられるのではと勉強になった。

## 3. 研修会についてご意見や感想

### 医師

- ・多職種で行う研修会はもっと必要
- ・医師の発表があるととてもよかった
- ・時々開催してください
- ・毎年テーマを変えて続けていって欲しい
- ・専門職種だけの活動だけでなく、連携のところをもう少し聞きたかった

### 看護師

- ・薬剤師、RH、歯科、訪問看護師の係わりがまだまだ十分わからない現状ですが、今後伝わっていけばいいと思います。
- ・今後ケアマネさんとよく相談して、歯科介入、RH介入など本人・家族を含めて検討していきたい。
- ・病院に勤務しているので、在宅での実際の様子（訪問時のアドバイスや家族様の思い）が解り大変勉強になりました。
- ・病院看護師（連携室以外）へのアナウンスはされたのでしょうか。参加されるととてもよい勉強になると思われます。
- ・在宅で行っている歯科医、薬剤師、訪問リハビリ等の事業の動向について学ぶことができました。

### ケアマネジャー

- ・日頃関わりが少ない先生方のお話が聞けてよかったです。 同様1件
- ・ケアマネ以外からの多職種連携についての話が聞けてよかった。 同様1件
- ・「連携」がテーマだったので、介護保険ではケアマネが主となり多職種とかかわっていくと思われるのでケアマネの参加があってもよいのではないかと感じた。
- ・業務忙しい中講演された先生方に感謝いたします。資料があると記憶の継続や調査に役立つと思われる訪問リハの資料しかなかったのが残念です。  
佐々木先生の講演は口腔環境を整えることでADL向上に繋がるという大変有意義なものを感じました。
- ・今後は医療、多職種との連携が必要であると強く思いました。ケアマネが中心に連携していかなければならないこと、今まで連携できていなかったと反省しました。

## その他

- ・在宅医療連携に関して、リハビリ専門職は他の職種と比べるとまだまだな部分が多いので、なんとかがんばっていきたいです。
- ・各専門職とのネットワーク作りの場にもなっているものと感じました。今後顔と腕が見える場になればと思います。在宅において各専門職共通の課題として、食事・嚥下といったことが挙げられるものと感じました。
- ・一堂に会し意見交換ができてよかった。
- ・歯科医師の在宅訪問の話はとても興味深かったです。
- ・高齢者を支援していく上で、様々な職種の関わりが大事であることを改めて学びました。多職種と積極的に関わりよい支援につなげていきたい。

## 4. 今後希望する研修会や講演会、要望など

- ・感染症についての講演会(麻疹、サルモネラ、インフルエンザなど)
- ・感染症に関する基礎知識 時代遅れの診断書は不要
- ・2025年問題、多死社会に向けた庄内地域としての取り組みについて
- ・訪問介護の立場からの報告もお聞きしたいと思いました。生活の視点で本人、家族を支えることは大変重要と思います。
- ・多職種連携の成功事例
- ・精神疾患の方への対応
- ・在宅で使える社会福祉制度について聞きたい。

### 〈研修会の内容以外に関するご意見〉

- ・会場となる施設の駐車場のキャパシティが大きいところでの開催を望みます。
- ・シンポジウムがもっと長くてもよかった。
- ・発表者の声が後ろの方まで届きにくかった。
- ・立派な資料なのに字が小さくて読めないのが残念でした。
- ・20時位に終了をお願いします。